

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

1月20日

ふるさとの自然を体験 冬のトレッキング体験 | 和琴小学校

好天のなかでトレッキング



和琴小学校（鳴海厚校長）では、1月20日、冬のトレッキング（歩くスキー）体験を行いました。同校の土曜授業の一環として行われたもので、同校の保護者で、アウトドアガイドでもある土田祐也さんの指導のもと、児童、保護者、教職員ら18人が、摩周湖第1展望台付近からの往復3kmのトレッキング体験を行い、歩くスキーを楽しみました。

同校では、普段から学校の周りなどで歩くスキーを行っていて、皆さん上手に気持ちよさそうに楽しんでいました。

1月30日

持続可能なまちづくりを目指して てしかがまち・ひと・しごと創生戦略経過を報告

持続可能なまちづくりを目指して



町では、平成27年に策定した「てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」の経過報告と意見交換会を町公民館で行いました。この戦略には、平成31年度までに重点的に行う人口減少対策や雇用の創出などの政策が計画されており、今回はその進捗状況などを報告しています。

報告会の中では、日本人口学会理事で札幌市立大学の原俊彦教授、町内の学校長や商工業などの関係者からさまざまな意見がだされ、活発な意見交換が行われました。

1月30日

火と人の関わりやエネルギーの進化について学ぶ LPガス協会釧路支部が弟子屈小学校で講座

火きり板がくすぶる様子に驚き



北海道LPガス協会釧路支部青年委員会（竹本毅青年委員長）の皆さんが1月30日、弟子屈小学校（佐野哲哉校長）5年生に「ファイヤー探検記 FIRESTORY ～人と火をめぐる物語～」と題し、出前授業を行いました。

火との関わりや、エネルギーと環境問題への理解を深めてもらおうと、同支部が釧路管内の小学校で行っているもので、同校では5回目。同支部員のほか同支部弟子屈分会の会員合わせて10人が来校し、火とエネルギーの歴史や、同支部が行う防災への取り組みなどを説明しました。また、児童は火おこしにも挑戦。その大変さから、火のある生活のありがたみを実感していたようです。

1月30日

ダイヤモンドダストを彩る灯り スノーランタン・キャンドル作り | 川湯小学校

くすねないようにそっと



ダイヤモンドダスト in KAWAYU の開催に係り、1月30日、川湯小学校（川島真澄校長）の全校児童が開場を飾るスノーランタン作りを行いました。当日は天気恵まれ、青空のもと作業。低学年の児童が協力し合いながら、バケツに雪を詰めて作成しました。高学年の児童はより難しい雪玉キャンドル作りにも挑戦。温泉水で硬さを調節しながら、バランスを考えて一つ一つ丁寧に作成しました。31日には川湯中学校の生徒もランタン作りにも挑戦し、両日合わせておよそ100個のランタン・キャンドルが完成。川湯神社に飾られ、来場者の目を楽しませました。

1月30日

地域の役に立ちたい 東星渡部建設株が倒木などを撤去

チェーンソーで丁寧作業



東星渡部建設株（渡部哲夫代表取締役）の皆さんが、川湯温泉3丁目（川湯神社付近）の河川敷地内の支障木の撤去作業を社会貢献の一環として行ないました。

2月に行なわれたダイヤモンドダスト in KAWAYU でも使用されていた川湯神社周辺の倒木などを撤去し、イベントに訪れる皆さんに気持ちよく過ごしてもらいたいとの思いから行われたもので、5人が参加。チェーンソーなどを使い、トラック6台分の支障木を撤去しました。

2月2日

悪いものを追い払って春を迎えよう 節分の豆まき | おひさま保育園

鬼は外！福は内！



おひさま保育園（松岡厚子園長）で2月2日、節分の豆まきが行われました。節分を迎えるこの時期に毎年行われていきます。初めに、節分に合わせてそれぞれの組で作った鬼のお面をお披露目。怖いお面や可愛いお面など園児の力作が並びました。続いて先生が節分や鬼についてのお話をし、節分のいわれや豆まきの掛け声をみんなで確認。その後、ピアノに合わせて豆まきの歌を終えたところで、太鼓の音とともに3匹の鬼が登場しました。泣いて逃げの子や果敢に豆を投げる子などさまざまでしたが、最後はどうか鬼退治に成功しました。

2月2日

おいしく楽しく集う場所への第一歩 旧昭栄小学校でパンの予約販売を開始

天然酵母使用で子どもにも優しい



地域おこし協力隊の岡西真由美さんによるパンの予約販売が、2月2日から旧昭栄小学校で始まりました。今年度春に着任し、南弟子屈地区の活性化にむけて取り組む岡西隊員。昨年10月から行って来たパン作り見学&プチ体験、同地域住民向けの食パンモニターを経て「みるく食パン」「リッチあん」「ごまパン」「全粒粉入り食パン」の4種類が完成。手作りの店頭並びました。岡西隊員は「一人での作業なのでどうしても作れる数に限りがあるが、販売日を増やすなどして対応していく。応援してくれる皆さんのためにも頑張りたい」と笑顔で話しました。

2月14日

さまざまな芸術に触れよう 芸術とパフォーマンスの鑑賞会 | 川湯中

大きな筆で書に挑戦 神田君



全国的に活躍するアーティストによる芸術とパフォーマンスの鑑賞会に、2月14日、川湯中学校の全校生徒が参加しました。会場は川湯神社横のART IN 極寒芸術伝染装置。当日は伴英将氏による邦楽演奏、伴蒼翠氏による書のパフォーマンス、ローフィット・イブラヒム氏によるワヤン・クリ（影絵）・馬踊り・獅子舞、笠貫彬文氏によるサンドアート、サムライデンキによるアクトパフォーマンスが行われ、生徒たちを魅了。普段目にする事のない芸術とパフォーマンスに、思わず「すごい…」と感嘆の声が漏れていました。鑑賞会は次年度から定例行事として継続されます。

2月15日

人が集う南弟子屈を目指して 第4回南弟子屈地域活性化協議会WG

多くの意見が飛び交う



南弟子屈地域活性化協議会（小澤重則会長）の第4回ワーキンググループ（以下WG）が2月15日、旧昭栄小学校で行われました。WGでは「新しい協力隊員の募集」「ライダーハウス」「レンタルスペース」「酪農体験ツアー」「飲食」の4つについて、各グループから会員へ進捗が報告され、今後の方針について全体で時間をかけて協議されました。協議会の中心メンバーとして関わってきた地域おこし協力隊員のうち、2人が任期を終えることもあり、新たな担当者の選抜やコーディネーター・ガイドの発掘・養成などについても協議されました。

2月16日

自然災害と日頃の備えの大切さを伝える 釧路地方気象台による防災出前講座

全員でダンゴムシのポーズ



釧路地方気象台（橋本勲台長）による防災に関する出前講座が2月16日、摩周丘幼稚園（鈴木幸栄園長）で行われました。講座では、釧路財務事務所と釧路短大幼児教育学科が共同開発した防災紙芝居「じしんがおきたら」を使い、地震発生時の身の守り方や日常の備えについて学びました。上演後は、緊急地震速報などの警報音を実際に聞いたり、身を守るための、ダンゴムシのポーズを練習しました。同園では、年に5回地震や火災を想定した訓練を行っており、鈴木園長は、今後も継続して訓練したいと話していました。

2月17日

紙芝居を楽しもう！ 紙芝居屋トシちゃんの紙芝居講演

紙芝居の魅力にみんな笑顔



図書館企画「紙芝居を楽しもう！」が2月17日、町図書館内絵本コーナーで行われました。町内在住の紙芝居屋トシちゃん（原俊和さん）と音読トレーナーの・原直美さんによる紙芝居講演に、7人の子どもがお父さん、お母さんと一緒に参加。はじめに直美さんによる呼吸のトレーニングで声を出し、続く「おむすびころりん」のお話して「おむすびころりんすっとんとん」とみんな大きな声を出して紙芝居を楽しみました。弟子募集のコーナーでは、参加者のうち2人が元気よく立候補。トシちゃんと一緒に「たこちゃんたこちゃん」のお話に挑戦しました。